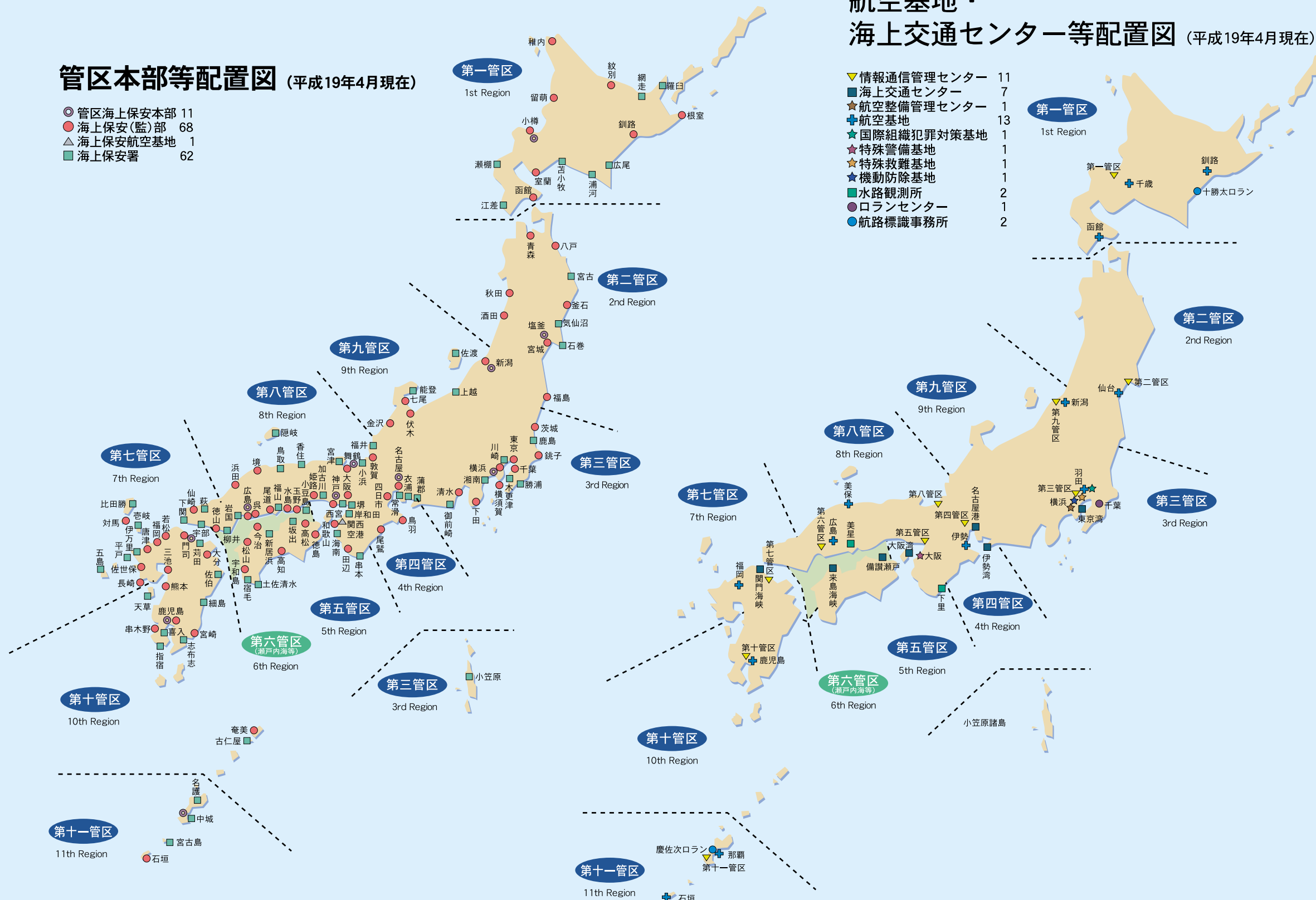


# 海上保安庁の組織・体制

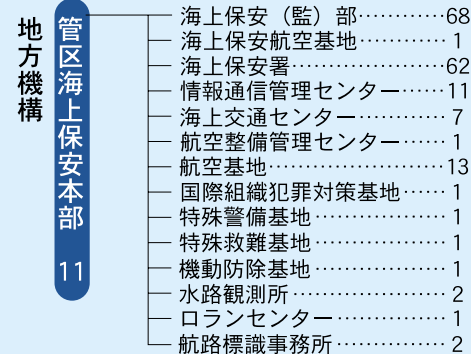
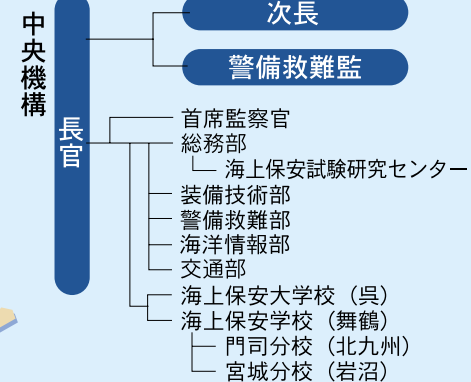
海上保安庁は、東京に本庁があり、全国を11の海上保安管区に分けて海上保安業務を行っています。それぞれの管区には、管区海上保安本部があり、その下には、各地に海上保安（監）部、海上保安署、航空基地、水路観測所、海上交通センターなどを置いています

## 管区本部等配置図（平成19年4月現在）

- ◎ 管区海上保安本部 11
- 海上保安（監）部 68
- ▲ 海上保安航空基地 1
- 海上保安署 62



## 組織



## 勢力

**船艇**

巡視船	122隻
巡視艇	234隻
特殊警備救難艇	76隻
測量船	13隻
航路標識測定船	1隻
設標船	3隻
灯台見回り船	26隻
教育業務用船	3隻
計	478隻

**航空機**

飛行機	27機
ヘリコプター	45機
計	72機

**航路標識**

光波標識	5,386基
電波標識	103基
音波標識	16基
その他の標識	33基
計	5,538基

（平成19年4月現在）

**予算・定員**

予算	189,081百万円
定員	12,411人

（平成19年度末）